

月刊 G S I マップニュース

第135号 4 ページ

平成 15 年 12 月 25 日発行

あ
て
先

様

通
信



トピックス

■ 「数値地図 5 mメッシュ（標高）」 （東京都区部）を刊行

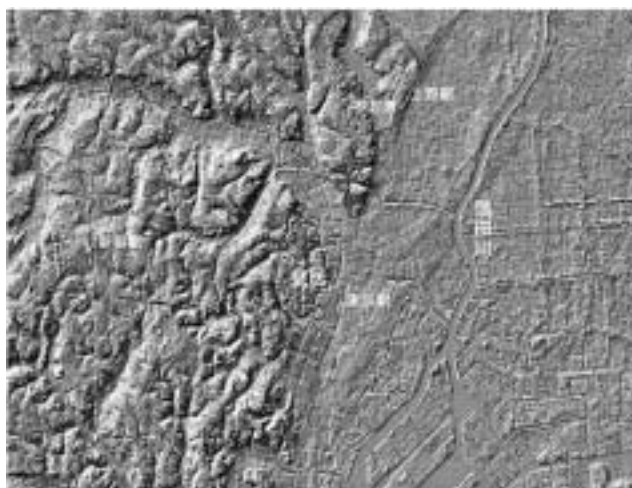
国土地理院は、12月1日、「数値地図 5 mメッシュ（標高）」を埼玉東南部（6月1日刊行）に引き続いて東京都区部を刊行しました。

本データは、航空レーザスキャナ計測によって得られたデータから、建物及び橋等の人工構造物、樹木等の植生を除いた地盤高のデータです。1ファイルは国土基本図図郭（1.5km × 2km）で、東西、南北方向にそれぞれ5m間隔に区切られる方眼（メッシュ）の中心の標高を10cm単位に集録しています。従来の数値地図 50 mメッシュ（標高）、250 mメッシュ（標高）に比べて、最も詳細な標高データです。

刊行地域は、東京都 23 区をほぼカバーする地域で 834 km²を 278 ファイルとしています。

これらのデータは、都市における洪水や内水氾濫などのシミュレーションの基礎資料として利用でき、防災対策に活用できるほか、様々な利活用が考えられます。

今後は、名古屋、大阪など大都市圏等を整備して随時刊行していく予定です。



（東京都区部の一部）

数値地図 5 mメッシュ（標高）を使用した陰影図

主 な 記 事

新刊情報 — 平成 16 年 2 月 1 日、
3 月 1 日新刊地図案内 2~3

つくば便り — JICA 集団研修「地球環境地図作成
技術：持続可能な開発のための地理情
報システム」コースが閉講 他 4

■ 電子基準点シンポジウムを開催

国土地理院は、12月10日、安田生命ホール（東京）において、電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会との共催で「電子基準点シンポジウム～電子基準点の高度利用に向けて～」を開催しました。

シンポジウムでは、位置情報サービス事業者、通信サービス事業者、測位新技術関係者など各分野の第一人者および電子基準点網を基盤とした測位サービスを G I S に利用したユーザーから合わせて6件の講演が行われ、電子基準点が、地殻変動検出以外にも、様々な用途に利用できる位置情報のインフラであることが述べられました。参加者は、官公庁、測量・設計業関係者にとどまらず、情報処理や通信関連業界の方々などで、300 名を超えました。

■ 地理情報標準普及・利用推進委員会を開催

国土地理院は、12月10日、弘済会館（東京）において「平成15年度第2回地理情報標準普及・利用推進委員会（委員長：伊理正夫東京大学名誉教授）を開催しました。この委員会は、平成14年度から国土地理院が実施している公募型共同研究「地理情報標準普及・利用技術に関する研究」の検討結果等について審議する目的で開催されています。

今回は、研究担当者から今年度実施している研究の中間報告がされ、委員会からは、現在検討中の、地理情報標準を扱う一般向けの「地理情報標準入門書」、地理情報標準をより日本の国情に合わせるための「日本版プロファイル」について、利用者の視点にたったより使いやすいものとなるようななどの要望が出されました。今後は、委員会での審議結果に基づき研究を進めていき、3月開催予定の委員会（最終）でその報告をする予定です。

なお、本研究については、国土地理院ホームページ（<http://www.gsi.go.jp/GIS/research/h15fukyu.html>）をご覧ください。

新刊情報

地図の価格と購入方法

[主な地図の価格]

1万分1地形図(5色) 450
 2万5千分1地形図(3色) 270
 5万分1地形図(4色) 290
 20万分1地勢図(6色) 320
 50万分1地方図(4色) 650
 100万分1日本(4色) 650
 100万分1国際図(12色) 890
 300万分1日本とその周辺 890
 500万分1日本とその周辺 800
 1万分1火山基本図 590

(円:消費税込み)

[購入方法]

国土地理院の地図を取り扱っている全国の書店等でお買い求め下さい。また、通信販売を利用することもできます。通信販売のお申し込みは下記へ。

(財)日本地図センター
普及販売部

〒153-8522

東京都目黒区青葉台4-9-6

TEL 03-3485-5414

国土地理院の地図に関するお問い合わせは下記へ。

国土地理院地理情報部
情報管理課生産管理係
〒305-0811

茨城県つくば市北郷1番

TEL 029-864-6876

数値地図の価格と購入方法

[価格:1枚(消費税込み)]

CD-ROM : 7,500 円

[購入方法]

数値地図を購入する場合は、下記へ直接お申し込み下さい。また、国土地理院の地図を取り扱っている書店でも取り次いでおります。

(財)日本地図センター
普及販売部

TEL 03-3485-5414

刊行地図面数

(平成15年1月1日現在)

1 万分 1 地形図 297面
 2万5千分1地形図 4,338面
 5 万分 1 地形図 1,291面
 20 万分 1 地勢図 130面

新刊地図案内

○平成16年2月1日刊行予定

2万5千分1地形図(証判3色) 10面

図名	地図番号	実施年・種別	更新地域
じょうざんけい 定山溪	札幌 15-1	15年 更新	札幌市
たけなみ 竹波	宮津 2-2	"	敦賀市、美浜町
にしづ 西津	宮津 3-4	"	小浜市、三方町、上中町
かた 堅田	京都及大阪 2-1	"	大津市、近江八幡市、守山市、中主町、志賀町
かみおさかべ 上刑部	高梁 6-3	"	新見市、大佐町、勝山町、美甘村、新庄村
にしへんなざき 西平安名岬	宮古島 2-4	"	平良市
ふくきた 福北	宮古島 3-1	"	城辺町
ひがしへんなざき 東平安名岬	宮古島 3-2	"	城辺町
うえち 上地	宮古島 3-4	"	城辺町、下地町、上野村
いけまじま 池間島	宮古島 2-3	"	平良市

○平成16年3月1日刊行予定

2万5千分1地形図(証判3色) 2面

図名	地図番号	実施年・種別	更新地域
ながしま 長島	伊勢 11-4	15年 更新	紀勢町、大内山村、紀伊長島町、海山町
きたこまつ 北小松	京都及大阪 1-1	"	大津市、志賀町、朽木村、安曇川町、高島町

5万分1地形図(証判4色) 4面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
かもえない 神恵内	岩内 10	14年 要部修正	漁港の埋立
おおつち 大槌	盛岡 4	"	国道45号バイパスの完成、一般道の拡幅及び改良
みかわおおの 三河大野	豊橋 7	15年 要部修正	国道301号の指定、国道257号の経路変更
はまさき 浜崎	福岡 16	"	市制施行(前原市)、国道202号の拡幅、一般道の拡幅及び改良

20万分1地勢図(証判6色) 1面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
いしがきじま 石垣島	NG-51-12・18	15年 修正	石垣港の埋立、一般道の拡幅

(次ページに続く)

(次ページより続く)

2万5千分1沿岸海域地形図(四六判折図3色) 1面

図名	実施年・種別	備考
いくはし橋	14年測量	

2万5千分1沿岸海域土地条件図(四六判折図) 1面

図名	実施年・種別	備考
いくはし橋	14年測量	色数:表8色裏1色

刊行延期のお知らせ

平成16年1月1日刊行予定の2万5千分1地形図「札幌」(札幌10-4)、「脇野沢」(青森2-3)、「平良」(宮古島3-3)の3面は刊行が延期になりました。

表の見方

<用紙の大きさ(単位mm)>

証判 460 × 580、菊判 636 × 939、四六判 788 × 1091、四六半裁判 520 × 738

<図名>

地図の名称で、その地図中に表示されている居住地名の中で最も著名なものを採用することが多い。山、湖沼、岬、島などの名称を採用することもある。

<地図番号>

地図の地球上における位置を示すもので、分類するのに便利のように系統的につけてある。2万5千分1地形図と5万分1地形図の地図番号の中の名称は、その地形図が含まれる20万分1地勢図の図名。

<実施年>

地図の現地調査を実施した年、若しくは編集を行った年。更新年は年度。

<種別>

[改測]すでに作成された2万5千分1地形図を新たに作成しなおすこと。

[更新]新規格の2万5千分1地形図に適用され、該当図葉の全部又は一部が修正されたもの。

[修正]修正測量の略称で、地図を定期的に全面修正する測量。

[部修]部分修正測量の略称で、定期修正とは別に、1万分1地形図の表示事項の一部に、現況との顕著な相違が生じた場合に、応急的に修正する測量。

[要修]5万分1以下の縮尺の地図の部分修正。

[編集]2万5千分1地形図とその他の資料を用いて、道路・家屋・等高線等の表示事項を取捨選択するなどして、5万分1地形図を作成すること。5万分1地形図から20万分1地勢図等を作成する場合も同様。

<備考>

修正事項等の中から特徴的なものを1～2選んで示した。

<更新地域>

2万5千分1地形図の更新は、自治体単位で修正を実施。

世界測地系の経緯度数値を表示した地図

国土地理院では、我が国の測量の基準を世界共通で使用できる世界測地系に改めた「測量法」の改正を受け、2万5千分1地形図等について、世界測地系による経緯度数値を表示しています。

世界測地系の経緯度数値を表示した地図については、国土地理院ホームページから「測量法」を選択後、「世界測地系の導入に関して」を選択し、「世界測地系緯度・経度対照表」(http://www.gsi.go.jp/MAP/NEWOLDBL/New_OldBLindex.html)の「20万分1地勢図対照表へ」または「5万分1、2万5千分1地形図の対照表へ」の各索引図で確認することができます。

つ く ば 便 り

■ J I C A 集団研修「地球環境地図作成技術：持続可能な開発のための地理情報システム」コースが閉講

10月6日より、5カ国5名の研修員を迎え、約2ヵ月にわたって実施されてきた平成15年度JICA集団研修「地球環境地図作成技術：持続可能な開発のための地理情報システム」コースが、12月11日に閉講となりました。

コース閉講の前日には、テクニカルレポート発表会が行われ、各研修員が本研修において習得した知識や技術を使い、自国の現状を踏まえた地球地図データの整備や応用に関するレポートが発表されました。

また、閉講式後に行われた評価会では、研修員から「地球地図データ整備のコンセプトをより一層理解できた」「自国に戻り、地球地図の必要性、重要性をアピールしたい」など、本研修についての感想や意見が多く出されました。

なお、本コースは今年度で5年目の節目を迎えたことから、このほど見直しが行われ、来年度からは地球地図の利用技術を組み込んだ「地球環境地図作成技術：地球地図整備に貢献することを目指した地理情報システム」コースとして実施される予定です。

■ 企画展「地図で見る茨城の観光」開催中！

「地図と測量の科学館」では、企画展「地図で見る茨城の観光」を11月22日から1月12日まで開催しています。

この企画展は、茨城県及び83市町村と観光協会等がPR用に作成した観光ガイドマップ・ガイドブックなどを紹介しています。

これらの展示品には、地域の特徴をイラスト的に表現したものや、興味深い内容のものも数多くあります。

この企画展を通じて、郷土・茨城のいろいろな観光資源（自然、歴史、芸術、人、文化、食など）のすばらしさや大切さを感じていただくと共に、地図が私たちの生活の中で広く利用されていることを改めてご理解いただき、地図への関心を高めていただく機会になれば幸いです。

是非、ご覧ください。

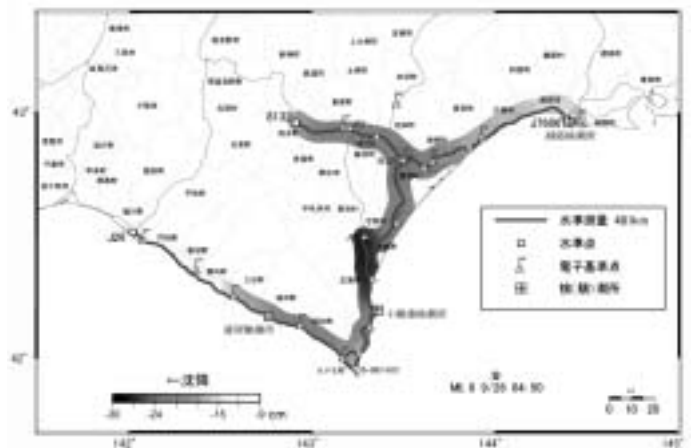
■ 十勝沖地震にともなう水準測量結果を公表

9月26日に発生した十勝沖地震(M8.0)にともない、国土地理院が緊急に実施していた水準測量(路線長:480km、水準点:230点)が12月上旬に終了し、詳細な地殻上下変動が明らかになりました。

釧路検潮所を基準として、1990年から1993年にかけて行われた水準測量との比較から求めた大樹町・広尾町周辺の上下変動は、約30cmの沈降となりました。この量は、電子基準点のGPS連続観測により確認されている最大の沈降量28cm(大樹町)とほぼ一致しています。

今回の十勝沖地震に伴う上下変動が広域のため、今回実施した水準路線以外についても、来年度に水準測量を実施し、日高・十勝地方の水準点成果を広域にわたって改訂する予定です。

なお、詳細は、国土地理院ホームページ(<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2003/1208.htm>)で公開しています。



水準路線上下変動図

編集 国土地理院ニューズレター編集委員会
発行 国土交通省国土地理院地理情報部
〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
TEL 029-864-6876 FAX 029-864-1239
連絡先: 情報管理課生産管理係
国土地理院ホームページのURL
<http://www.gsi.go.jp/>

このニューズレターは、再生紙(古紙配合率50%)を使用しています。